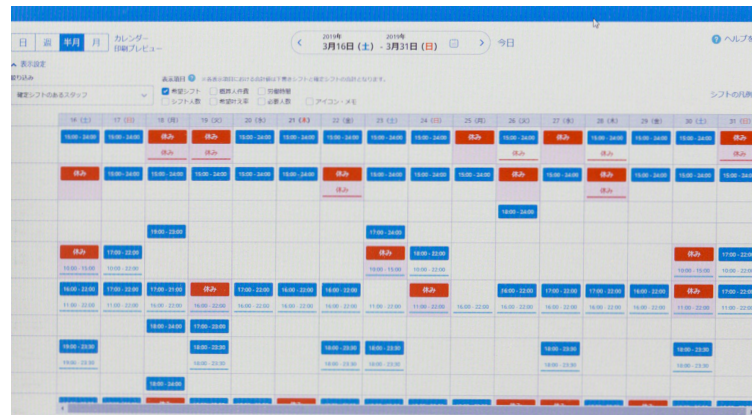


導入して実感！

Good

Airシフトのここが

- シフト希望収集や出し忘れリマインドをPAスタッフに自動送付。チャットアプリなどでの面倒なやり取りを削減
- PA・社員スタッフのシフトを見やすい画面で一元管理。微調整を行って確定すれば、スタッフ全員でシフト表を共有できる
- 店舗側Airシフト、PA側シフトボードとも直感的に操作ができ、紙ベースからの移行時もトラブルなし。プリントアウトの店内掲示も簡単
- 最大2ヶ月間の無料体験期間で、使い勝手を確認してから導入が可能。登録人数10人までで月額1000円(税抜)からと、有料でもリーズナブル



PAのスマホアプリ「シフトボード」から送られてくるシフト希望は、シフト表に自動的に反映。紙カレンダーへの書き込みや、表計算ソフトなどへの入力の手間や写し間違いなどの問題も解決できる。時間帯ごとに必要な人数を設定しておけば、最適な人員配置が可能に。シフト希望叶え率もグラフ表示され、スタッフの満足感に繋がり、バイト継続率が高まる。

自動リマインド機能がPAからも好評価

マニュアルなしでスムーズに移行し、シフト作成時間を1/3にまで削減

日本発の韓国料理として、すっかり定着したチーズタッカルビ。テーブルで仕上げる料理だけに、安定したPAシフトの継続が店舗運営に不可欠だ。東京・麻布十番で超人気のブランド「山本牛臓」の柏店が、シフト管理に「Airシフト」を導入。店舗・PAともに、シフト希望収集から確定までの作業負担を軽減し、店舗力アップを実現している。

導入店

山本牛臓 × AirSHIFT

やりとりも作成もラクになるシフト管理サービス

シフトボードと連携してスタッフも嬉しいAirシフト



調理担当社員スタッフ
尾崎賢也氏

当店のPAスタッフはほとんどが学生なので、調理場ではまず、韓国料理の料理名や調味料をしっかり覚えてもらうことが必要になります。就活や卒業時期を除けば、求人自体にはあまり困っていませんが、多いときには20名位のスタッフ登録がありますので、シフト管理担当の芝野の仕事は負担が大きかったと思います。Airシフトを使い始めてからは、作業時間が減り、「希望シフト収集でほしいシフト表が完成した」と聞くこともあって、導入効果は大きかったですね。私たち社員もシフトボードを使って、休みの希望をAirシフトに送っておりますが、非常に使いやすい。シフトボードは、他店で使用した経験のあるPAも多く、はじめてシフトボードに触れるPAでもまったく問題なく使えると思います。

アルバイトスタッフ用アプリシフトボードとの連携

アルバイトスタッフ用のシフト管理ソフトとして、圧倒的な人気の無料アプリで、ダウンロード数は400万以上。カレンダー表示でシフト日がひと目でわかり、時給を入力すると毎月の給料を自動計算。交通費や深夜時給などの設定をしておけば、収入計画も立てられる。Airシフトとの連携は、店側が用意したQRコードをシフトボードから読み取るだけ。同店では全員がシフトボードから希望を提出し、確定シフトを受け取る。シンプルなコミュニケーションで希望を伝えられるので、スタッフにも好評だ。



安心のサポート体制

アカウント登録後は、店長とスタッフそれぞれに、わかりやすい紙のマニュアルが送付される。また、専用ヘルプデスクが開設されており、操作に困ったときには気軽に相談できる体制がとられている。

問い合わせ先
Airシフトヘルプデスク ☎0120-759-225
(平日 10:00～19:00)



MENU

6色ナムルの盛り合わせ
780円

サムギョブサル
1人前1280円

タッカンマリ
(半羽) 1980円
(1羽) 3480円

海鮮チヂミ
1080円

牛すじ煮込み
680円

「サムギョブサル」はスタッフがテーブルで焼き上げることで臨場感を演出する人気メニュー。優しい味わいの鶏のスープ煮「タッカンマリ」、サクッとした食感の「海鮮チヂミ」、味の決まった「牛すじ煮込み」など、すべての料理の完成度が高い。2～4名くらいまででシェアできるボリュームの商品が多く、顧客の満足度をさらに高める。

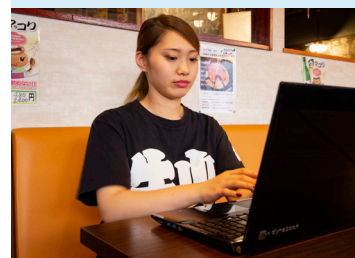


SHOP DATA

山本牛臓 柏店
千葉県柏市旭町1-5-4
プラザバスカビル3F
営業時間 11時30分～15時
(土日祝日のみ)
ディナー 17時～23時
不定休

表計算ソフトをAirシフトへシフト作成時間は1/3以下に

看板メニューのチーズホットタッカルビやサムギョブサルは、ほとんどのテーブルから注文が入る。これらの料理の仕上げはホールスタッフがテーブルで行うため、とくにホールPAの確実なシフト作成が店舗運営には重要だ。シフト表はオープン当初から表計算ソフトでつくり、手入力をするという手間のかかる作業を続けていたが、今年2月からAirシフトの利用を開始した。ホール責任者で、



店舗にはPCとiPadが置かれており、どちらでもAirシフトの操作が可能。iPad利用での正式サポートがリリースされたため、現在はiPad利用がメイン。

シフト作成を担当する芝野佳菜氏は、次のように語る。
「上司から、『Airシフトっていう便利なサービスがあるから、とりあえず使ってみて』と言われて使い始めることに。日常生活でPCを使うことはほとんどないのですが、簡単な説明を受けただけですぐに利用することができました。半月毎のシフトを以前は3時間くらいかけてつくっていたのですが、Airシフトに替えてからは1時間もかからずに完了することもあります。アルバイトスタッフから好評なのは、自動リマインド機能ですね。初期設定を同僚にやつてもらったので、実は私は知らなかったんですが(笑)、希望シフトを出していないスタッフに自動で提出依頼メッセージが送られるので、店とスタッフ両方にとってとても便利です」
PAスタッフ側は、無料スマホアプリのシフトボードでAirシフトとのコンタクトを取る。PAのほとんどがスマホに慣れている学生であるため、Airシフトへはスムーズに移行できた。シフトの提出依頼や出し忘れには、チャットアプリのメッセージを使い、返信がないときには電話をしていたが、自動シフト収集とリマインドがこの負担を大きく削減。さらに、Airシフト導入以前の、確定シフト表画面を写真に撮ってチャットアプリに添付して送付するという作業もなくなった。

PA人件費概算など管理に必要な機能も豊富

取材時はAirシフト導入から1ヶ月半程度で、「マニュアルを読まずに使い始めることができたので、まだ全部の機能はわかっていない」と(芝野氏)という状況だが、同店が利用している機能以外にも使える機能を豊富に備えている。PAから収集した勤務・休み希望をもとに大枠のシフトを作成する「シフト作成アシスト」、早番/中番/遅番など、店で通常使っている勤務時間を設定できる「シフトパターン」、スタッフごと・日ごとの概算人件費集計、出退勤・休憩時間などを打刻できるタイムカードなど、スタッフ管理関連で、店舗の円滑な運営と収益力強化に必要な機能を数多く標準搭載する。追加要請や変更希望などを、Airシフトとシフトボードでやり取りができるチャット機能も好評だ。出勤依頼の際には定型文も用意されており、いちいち文章を考える必要がない。
利用開始月と翌月は無料体験期間となるため、例えば、4月1日に使用を始めれば、4月と5月の2ヶ月間が無料体験期間となる。期間終了後も自動課金はされないため、現場での使い勝手を確認したうえで、継続・中止の判断をすることが可能だ。この無料体験期間を活用し、まずは気軽に試してみることをおすすめしたい。

くなった。確定シフト表は、店舗側はPCやタブレットのAirシフト、PA側はシフトボードで簡単に共有できる。「山本牛臓 柏店では店舗にPCとタブレットを置き、シフト作成を実施している店舗はPCでもタブレットでも、同じサービスを受けることができる。」